

第4回北海道プライマリ・ケア フォーラム

【対象】 医療系学生・若手医師・スタッフ・各種医療専門職

～ 一歩踏み出す ～



2016年11月26日(土) 13:00～18:40

北海道立道民活動センター かでる2.7

北海道札幌市中央区北2条西7丁目

学生・初期研修医 無料 支部会員(非支部会員):2,000円(4,000円) ※託児所を準備しています

※家庭医療専門医、プライマリ・ケア認定更新のための単位:4単位、「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位2.5単位」が参加証として交付されます。

illustration: Vector Open Stock

基調講演



宮崎大学医学部
地域医療・総合診療医学講座
吉村 学 教授

演題
「一歩踏み出す勇氣、
そしてロングトレイル
～地域医療の現場で学んだこと～」

タイムテーブル

13:00～13:20	開会式
13:30～14:50	ワークショップ ① ② ③
14:50～15:20	休憩 ※研修プログラム紹介
15:20～16:40	ワークショップ ④ ⑤ ⑥
17:00～18:20	基調講演
18:20～18:40	閉会式

閉会後会場を移動して懇親会を行います 会費:5,000円
懇親会会場:ホテル札幌ガーデンパレス

最新情報/事前参加申し込みは Facebook or
支部会ページ(<http://jpca-hokkaido.jp/forum2016/>)まで



企画詳細

①学生企画 総合診療って何?～はじめの一歩～	学生に おすすめ!
「総合診療医の役割って?」「他科とどう違うの?」という方も、「もっと詳しく知りたい!」という方も、あなたの疑問に答える学生による学生のための企画です! 講師 北海道家庭医療学センター 更別村国民健康保健診療所 川合晴朗先生 動医協中央病院 総合診療科 菅藤賢治先生	
②多彩なセッティングで縦横無尽に活躍する総合診療医のための臨床推論ワークショップ	
救急・内科・往診それぞれの疾患頻度と利用可能な検査、OSCEレベルの診察を組み合わせ実践的な発熱患者の診断ルールを作ります。 講師 動医協札幌病院 副院長 内科・総合診療科科長 佐藤健太先生	
③在宅看取りへ一歩踏み出す	
在宅看取りに必要な4つの要素について学び、一歩踏み出しましょう! 講師 札幌市在宅医療協議会 代表講師 静明館診療所 大友宣先生	
④患者中心の医療の方法・実践編	
学生から医師まで現場で活用できる「患者中心の医療の方法」を一緒に学びましょう! 講師 北海道家庭医療学センター 北星ファミリークリニック 副院長 中島敏先生	
⑤特別企画 災害医療～わたしたちができることは～	
急性期～復興期までタイミング毎に、プライマリケアに関わる人がどう関われるのか、実際に経験した方々にお話しいただきます。 講師 NPO法人どさんこ海外保健協会 代表 留寿都診療所 大泉樹先生 道南動医協 函館稜北病院 総合診療科科長 川口篤也先生 動医協中央病院 副看護部長 澤田幸子先生	
⑥特別企画 総合診療医キャリアプラン ～様々な軌跡～	
いつどのようにして総合診療医を目指したのか、各先生方のキャリアの軌跡をシンポジウムやカフェ形式で語ってまいります。 講師 動医協家庭医療センター 平和通りクリニック 泉京子先生 北海道家庭医療学センター 寿都町立寿都診療所副所長 今江章宏先生 JA北海道厚生連 倶知安厚生病院 総合診療科主任医長 木佐健悟先生 江別市立病院 総合内科/町立南幌病院 院長 山内純先生	





基調講演 宮崎大学医学部 地域医療・総合診療医学講座 吉村 学 教授

『一步踏み出す勇氣、そしてロングトレイル

～地域医療の現場で学んだこと～

1991年宮崎医科大学卒業

2003年より17年間岐阜県揖斐郡の診療所で勤務、多職種間連携教育（ごちゃませIPE）などオリジナルな教育施策を実施
2015年に出身大学の宮崎大学医学部教授（地域医療・総合診療医学講座）へと転身し、臨床、教育、研究と第一線で活躍

プライマリ・ケア、家庭医療、総合診療、地域医療の世界へようこそ。数ある選択肢の中からこの分野を選んでいただいて本当に嬉しく思います。とても楽しくやりがいのある仕事だと思います。そして日本で最もアクティブな地域である北海道の地で皆さんにお会いできることにワクワクしております。恩師の五十嵐正純先生が1980年代に10年間にわたり地域医療の実践、研究、教育、そして情報発信をされ続けた地域でもあります。そのエッセンスを惜しみなく弟子の私達に教えてくださり、今の私があると思います。その教えを基にして、栃木・群馬・岐阜での実践を積み重ねてきました。家族も共に成長していきました。様々な決断をする場面があり、その度に「一步踏み出す」ことをした気がします。若い皆さんより少しだけ年長の立場から自身のこれまでを振り返り、共有することで何かのお役に立てればと思います。

Keyword：地域医療、10の軸、地域での教育、多職種連携教育、キャリア選択、ワークライフバランス、教育パイプライン、リーダーシップ

◇企画詳細 13:30~14:50

①学生企画

総合診療って何？～はじめの一步～

プライマリケア／総合診療医を将来の選択肢として考えている医療系学生(主に医学生)および初期研修医のためのWSです。プライマリケア、総合診療という言葉にみなさんどんなイメージを抱いているでしょうか？みなさんの疑問を共に考えていきましょう！

②多彩なセッティングで縦横無尽に活躍する総合診療医のための臨床推論WS

大病院救急・小病院内科・診療所往診のセッティング別に、Commonな主訴の診断フローチャートを作ります。利用可能な検査や治療選択肢と、セッティングごとの事前確率を考慮し、初期研修医レベルで実行可能な診断方法を考えることで、診断学の本質を理解でき明日の診療もガラッと変わります。

③在宅看取りへ一步踏み出す

このワークショップでは在宅看取りに必要な4つの要素「症状緩和・生活の支援・不安の解消・意思決定支援」を学びます。自分の施設や地域で行っている在宅ケアの課題を挙げ、チームづくりに必要なことを一緒に考えます。在宅看取りへ一步踏み出そう。

◇企画詳細 15:20~16:40

④患者中心の医療の方法・実践編

総合診療医の患者とのコミュニケーションにおいて、今や必須と言われる「患者中心の医療の方法」。本WSでは、臨床現場でそれをうまく活用し、より深みのある医師・患者関係を築きたい方のための「患者中心の医療の方法・実践編」を扱います。初學者からベテランの先生まで一緒に学びましょう！

⑤特別企画

災害医療～私たちにできることとは～
災害が起きた。そのとき、これから先何が必要とされるのか。災害医療は震災直後だけではありません。タイミングごとに医療者はどんな関わりが求められるのか。東日本大震災や熊本大震災の際に北海道から支援に行った方々に、シンポジウム形式でお話をうかがい、一緒に考えましょう。

⑥特別企画

総合診療医キャリアプラン～様々な軌跡～
総合診療医として最前線で活躍される先生方がどのように総合診療医を志し歩んできたのか、そして今後何を指すのか病院、診療所、都会、郡部など、多様なバックグラウンドを持つ先生方にキャリアの軌跡を語っていただいた後、参加者のみなさんと直に対話するフリートークの時間も用意しています。

◇アクセスマップ 会場：かでの2・7



最寄りの交通機関

・JR札幌駅南口：徒歩13分

・地下鉄

さっぽろ駅（10番出口）：徒歩9分

大通駅（2番出口）：徒歩11分

西11丁目駅（4番出口）：徒歩11分

・JRバス北1条西7丁目（停留所）：徒歩4分

・中央バス北1条西7丁目（停留所）：徒歩4分

・公共地下歩道（地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口をお通りください）

1番出口：徒歩4分